

Ⅱ

県土整備部の主要施策



県土整備部の主要施策

安心度UP

大規模地震に備える「地震・津波対策」



高規格道路の未整備区間の解消及び4車線化

災害時、復旧・復興の基幹ルートとなる高規格道路の未整備区間の早期解消や暫定2車線区間の早期4車線化に向け、関係市町村等と連携しながら、徳島南部自動車道、阿南安芸自動車道及び徳島自動車道の整備を促進します。



強靱な道路網の整備

高規格道路とともに災害時に人命の救助や救援物資の広域的な緊急輸送を担う強靱で信頼性の高い道路ネットワークを構築し、速やかな復旧・復興作業の実施、地域住民や道路利用者の安全・安心を確保するため、緊急輸送道路等の整備や橋梁の耐震対策、無電柱化を推進します。



道路啓開の加速

緊急輸送道路において、地震等で発生する段差・崩落による通行不能箇所を迅速に啓開し、「徳島県道路啓開計画」の実効性を高めるため、必要となる資機材を備蓄する箇所の整備や関係団体等との協力体制の強化、応急橋梁の配備や液状化対策の検討を推進します。



沿岸域の地震・津波対策

地震・津波による浸水被害を防ぐため、河川堤防の嵩上げや液状化対策、海岸における樋門・陸閘の改良や水門整備を推進するとともに、災害時に支援物資等の海上輸送拠点となる港湾の耐震強化岸壁等の整備を推進します。



船舶の係留保管対策

流出した船舶等によってもたらされる「津波による背後住居等への二次被害」や、「発災後の応急対策活動への支障」を未然に防ぐため、港湾や河川において「放置艇の削減」やリスクの高い水域からの「船舶の移動」に取り組みます。



災害に強い住環境の構築

大規模地震時の建物被害を防ぐため、木造住宅の耐震化・減災化対策をはじめ、老朽危険空き家の除却促進による避難路や防災空地の確保など、市町村と連携した防災対策に一体的に取り組みます。



上下水道施設の耐災害性強化

大規模地震等の災害発生時に、県民の生命に直結する水循環を持続可能にするため上下水道施設の耐震化を進めます。

流域治水の推進



気候変動に伴う水災害リスクの増大に備えた「流域治水プロジェクト」の着実な推進

堤防整備をはじめとするハード対策を加速化するとともに、雨水流出を抑える対策への支援などソフト対策を深化させ、流域のあらゆる関係者と協働して被害の防止・軽減を図ります。

また、産学官民が一堂に会する「水シンポジウム」を開催し、治水・利水・環境、および水辺を活かしたまちづくりに関する相互理解の深化と知見の共有を図ります。

暮らしを支える身近なインフラ整備



戦略的なインフラ老朽化対策

老朽化が急速に進む、道路、河川、港湾、砂防等の社会資本について、日常点検や適切な維持補修を行うとともに、公共施設等総合管理計画などに基づく長寿命化対策を推進します。



中山間地域における防災対策

地形的要因から危険と隣合わせである中山間地域の日々の暮らしを守るため、生活道路を補強する路肩整備や法面对策などを行うとともに、人家や山等を保全する土砂災害対策を推進します。



通学路の交通安全対策

道路の安全性向上を図るため、歩道や防護柵等の交通安全施設の整備を行い、歩行者等の安全な通行確保に向けた取組を推進します。



安全・安心な生活環境の実現

水道事業者（市町村）に対し、経営基盤の強化や施設の強靱化を促進するため、国の補助金・交付金制度の有効活用や広域連携の取組について助言・指導を行います。

また、生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るとともに、発災時における公衆衛生の確保に向け、市町村による合併処理浄化槽の普及促進や下水道への接続を支援します。

経済成長を後押しするインフラ整備



ICアクセス道路の整備の推進

高規格道路ネットワークへのアクセス性と利便性の向上を図るため、ICアクセス道路の整備を推進します。



新たな土地造成と港湾の機能強化

徳島小松島港沖洲（外）地区において、地域産業の活性化や港湾利用の増加を図るため、埋立てによる新たな土地造成に向けた設計や手続を進めます。

また、赤石地区においては、地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生に向けて、増大する貨物需要に対応するため、国の岸壁延伸と連携し、荷役機械及び埠頭用地の整備を推進します。

とくしまの個性を磨き上げる地域づくり



ウォーカブルな空間づくり

徳島駅を中心に、眉山、新町川、万代中央ふ頭などを結ぶ交流軸を形成し、人が行き交う回遊性の向上を図るため、「居心地が良く、歩きたくなる」ウォーカブルな空間づくりを推進します。



都市公園等の整備

都市公園や港湾において、こどもから高齢者まで安心して楽しめるスポーツ施設等の整備を推進します。

また、2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会への出展に向け、徳島の自然・文化・観光資源を融合した屋外庭園の整備を進めます。



駅周辺地域の一体化

徳島駅をはじめ、鉄道により分断された駅周辺地域の一体化を図り、中心市街地の活性化を促進するため、徳島市やJR四国等と連携して鉄道の高架化に取り組みます。



大鳴門橋への自転車道設置

サイクルツーリズムを通じた交流人口の拡大等を図るため、兵庫県と連携し、大鳴門橋自転車道設置を推進します。



空き家の利活用

交流・定住人口の拡大や安全安心な住環境の確保に向け、空き家を地域の資源として有効活用するため、民間企業との連携により、先導事例となる空き家対策をモデル的に実施します。



クルーズ船を活用した地域活性化

「地域経済」や「にぎわい」の更なる活性化を図るため、「船社等への誘致活動」や「クルーズ船寄港時の受入体制」を強化・充実するとともに、船内での県産食材の活用を目指したセールス活動を展開します。

未来を見据えた人材確保・育成



地域を支える建設産業の健全な発展

県民の生活を「守り・支える」建設産業の「担い手確保・育成」を図るため、「生産性向上」や「働き方改革」に取り組むとともに、多様な人材の発掘に向けて「魅力・やりがい」を発信します。



次の世代に向けた船員の確保

本県の産業を支える海運業の人手不足を解消するため、関係団体と連携し、魅力発信や船員の資格取得支援及び就職のサポートを実施します。



建築行政を支える人材の育成

住宅・建築行政に係る執行体制の継続的な強化を図るため、建築審査を担う職員の資格取得を後押しします。

デジタル技術の活用等による働き方改革



公共工事における業務の効率化・省力化

入札・契約・支払・検査など業務プロセスのさらなる効率化を図るため、省力化された「工事基礎情報管理システム」へ再構築します。



外部リソースを活用した経営事項審査の実施

建設業法に基づく経営事項審査のスムーズな審査体制確保と職員の働き方改革を実現するため、事前審査業務の一部委託により効率化を進めます。